

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



Prudential

平成 20 年 1 月 22 日

プルデンシャル生命保険株式会社

AED(自動体外式除細動器)を全国のスポーツ団体等へ寄贈

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼最高経営責任者 三森 裕）は、2007 年に創業 20 周年を迎えた記念事業として、全国 72 の子どものスポーツ団体等へ AED を寄贈します。

弊社では、創業 20 周年の社会貢献事業として、昨年より社員による普通救命講習の受講、本社および全国 86 支社への AED の設置を実施しました。この背景には、近年、子どもがスポーツ中に心臓しんとうを起こすという事故が増えていること、この心臓しんとうによる心肺停止状態から蘇生させるのに AED が効果的であり、その操作方法を学びたいという社員の声があがったことがあります。そこで、2007 年 9 月より順次全国の支社で社員とその家族が基本的な応急手当に加え、AED の操作方法を学びました。今年 1 月中旬までに約 2,100 名が受講し、最終的には全国 70 ヶ所で、約 4,000 名の社員のうち約 2,700 名が受講予定です。

子どものスポーツ団体への寄贈については、AED の普及の促進を図るとともに、普通救命講習で救命に必要な知識や技能を身につけた社員がボランティアとして参加する団体へ AED の寄贈を行うことで、AED をより有効に活用できるとの考えから決定しました。社員によるスポーツ団体への AED の寄贈は 2007 年 12 月より順次行っています。

また、今回の寄贈をより有意義なものにするため、寄贈先の選定にあたっては、心臓しんとうの知識を広め、啓蒙活動を行っているボランティア団体「心臓震盪^{しんとう}から子どもを救う会」より助言をいただきました。この寄贈に対して、同会事務局長の岩田賢雄氏は『「AED を子どもたちのスポーツの現場へ」この思いをかなえてくれた今回の寄贈は、今まで多くの子ども達の身に起きた不幸を二度と繰り返さないために大きな力となるでしょう。更に、これを機に多くの方が心臓しんとうを含めた子どもの安全に対する意識を高めてくれることを望みます』と述べています。また、同会代表幹事で医師の奥水健治氏は「心臓突然死は現場の救命手当てによって助けられる可能性が高く、AEDによる電気ショックは心臓マッサージとともに非常に大切な処置です。AEDは公共施設などへの普及は進んでいますが、子どものスポーツ現場へはなかなか設置が進んでいません。プルデンシャル生命による AEDの寄贈は子どもがスポーツを安全に行うために大変意義のあることだと思います」と

述べています。

弊社社長の三森 裕は「弊社は創業以来“家族愛・人間愛”を基本理念に掲げており、社員一人ひとりが自発的にボランティアに取り組む風土があります。このたびの寄贈により、社会に AED が一層普及し、次代を担う青少年が運動中の事故により生命を落とすという痛ましい事態を防ぐ一助となることを願っています。今後も社員ともども地域社会でお役に立つような社会貢献活動を実施していきたいと考えています」と述べています。

以上